

◆地方創生推進交付金事業/ソフト事業

個別戦略の番号	事業名	事業概要	総事業費(円)	交付額(円)	重要業績評価指標(KPI)	H29までの実績(累積)	H30実績(年度目標)	目標値	目標年度	未達成であった場合、その理由
1-1 1-3	働く人の願いチャレンジ応援プロジェクト	豊橋技術科学大学と連携して市内の企業活動や労働力の需給状況等を調査し、その実態を正確に把握するとともに、企業の雇用ポテンシャルを引き出しながら多様な働く場を創出し、働き手の雇用と結びつけます。 ・定住外国人に対する日本語教育から雇用紹介までワンストップで行う新たなマッチングシステムの構築 ・農業経営や先端農業、6次産業などを学ぶことができる農業系高等教育機関の設立準備の推進 ・先端農業を集中的に学ぶ研修や農業系企業でのインターンシップを通じた就職支援の実施 ・女性雇用に向けた企業への働きかけや環境づくりへの支援 ・働きたい女性への講座や研修等の実施	30,494,400	12,728,827	雇用に結びついた人数	21人	8人 (74人)	95人	H30	就労希望者、事業者へのヒアリングが想定以上に必要であり、双方の希望を満たすマッチングが十分にできなかったため
					定住外国人の就労支援件数	51件	36件	40件		達成
					農業系企業での研修・インターンシップ等件数	28件	35件 (35件)	35件		達成
1-1	オープンデータビジネス創出事業	豊橋市だけでなく東三河地域8市町村の官民が連携し、オープンデータポータルサイトから取得できるデータを充実させ活用の幅を広げるとともに、ハッカソンの開催などで民間事業者によるオープンデータの利活用を促進し、地域課題に対応した、あるいは新たな価値を付加したビジネスの創出を目指します。 ・オープンデータポータルサイトの充実 ・ワークショップなどによるビジネス創出支援	13,077,613	4,329,500	オープンデータのダウンロード件数	12,626件	56,338件 (500件)	1,000件	R1	達成
					オープンデータ利活用に関するワークショップ参加者数(累計)	515人	1,034人 (150人)	200人		達成
					データポータルに掲載されるオープンデータのデータセット数(累計)	84件	129件 (147件)	197件		行政データのオープンデータ化に向けた職員研修を実施したが、思うように進まなかった。
					オープンデータを活用した製品・サービスや同データの活用促進のため開発された製品・サービス等の数(累計)	29件	56件 (31件)	41件		達成
1-1	豊橋ローカルイノベーション創出事業	(株)サイエンス・クリエイトによる産学官連携コーディネートのもと、「豊橋サイエンスコア」の充実したローカルイノベーション創出機能を存分に発揮し、これまでの取組みを一層深化させ新たなビジネスの創出につなげていきます。 ・デジタル工作機械を活用できる人材の育成 ・地元農産物を活用した新商品の開発支援 ・専属の起業支援員による商品開発や販売戦略など企画、設計、マーケティングの伴走支援 ・ものづくりワークショップなどを通じた人材育成	47,200,000	17,250,000	施設利用料等収入金額	1,347千円	1,290千円 (2,700千円)	3,450千円	R1	施設利用者数は増加しているものの、使用頻度の高い機器等が偏り、思うように収入を得ることができなかった。
					施設利用者数	5,042人	5,907人 (6,000人)	7,000人		達成
					新規事業立上げ件数	8件	13件 (3件)	8件		達成
5-1	三遠南信地域情報活用・発信事業(豊橋市、浜松市、飯田市連携事業)	三遠南信地域を枠とした情報を調査・収集・分析するとともにこれらのデータにより、オープンデータライブラリーを構築します。また、このオープンデータライブラリーを活用した各分野における各主体の取組を促進するために、この地域の指針を検討します。なお、事業の実施は、三遠南信地域の39市町村、51商工会・商工会議所、3県から構成される「三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)」が行います。 ・オープンデータの利活用に関するニーズや課題の調査	999,000	499,500	オープンデータライブラリー閲覧件数	0件	2,078件 (1,000件)	12,000件	R1	達成
					オープンデータライブラリーを活用した新規事業の件数	0件	9件 (8件)	17件		達成
2-1 4-2	スポーツチームと中心市街地の事業者が共同で取り組む人の流れと需要の拡大事業	プロバスケットボールは市内外から多くの観客を集めることが可能なコンテンツであり、三遠ネオフェニックスを運営する株式会社フェニックスは、経済産業省が行う「地域未来牽引企業」に選定され、地域を牽引する企業として期待されている。また、本市には、豊橋技術科学大学、愛知大学、豊橋創造大学が立地しており、活きみなぎる若者が集うといった、スポーツを活用した地域の活性化を実現する好条件が整っている。 そこで、こうした様々な人材や地域資源をつなぎ、魅力発信及び新たな魅力創出の充実を図り、スポーツを活用したまちづくりを推進します。 ・若者をはじめとした市民の企画への参加促進 ・中心市街地や観光スポットへの誘導と消費拡大 ・市内で行うスポーツ関連事業との連携	5,724,000	2,862,000	三遠ネオフェニックスのホームゲーム1回あたりの平均入場者数	—	2,088人 (100人)	3,157人	R2	H30は特にホームゲームの成績が悪く、入場者数が増えなかった。
					三遠ネオフェニックスのファンクラブカード所有者によるブーストショップ消費額	—	0千円 (200千円)	6,000千円		ファンクラブカード所有者のブースター購入が1月から可能となったが、利用がなかった。
					地域資源を使った応援グッズ等の開発数	—	0件 (0件)	5件		—
					中心市街地で実施するホームゲーム連動イベント等への参加人数	—	0人 (0件)	1,000人		—
合 計			91,771,013	34,807,827						

※地方創生に資する先導的な取組みに対し事業費の1/2を交付